

平成18年度版 公園愛護会事例集

環境創造局 環境活動事業課

◆はじめに

公園愛護会にはさまざまな活動があります。

地域ぐるみのイベントや積極的なPRを行って、たくさんの人の参加を受けながら活動を行っている愛護会もあることでしょうし、別の公園愛護会では、豊かな志を同じにする人が集まり、こつこつと日々の活動を積み上げているところもあるでしょう。

こうした公園愛護会の活動は、「公園のためになる」ものであるとともに「自分たちの住むまちを楽しい場所にする」という活動でもあります。

わたしたちは、公園愛護会の皆様の活動を応援することで、公園愛護会の活動が活発になり、皆様が住むまちがよりよい場所になるといい、という思いを持って公園愛護会の支援を進めています。

この愛護会事例集は、市内で活発な活動を行っている公園愛護会の事例の一部を調べ、一冊にまとめたものです。

今年初めて公園愛護会の会長になられた方、

公園で面白い事をやってみたいと考えている公園愛護会の方、

あるいは困りごとを抱えている公園愛護会の皆様におかれましては、どうぞお時間のあるときに一度目を通してください。公園を楽しく活用しながら「まちを楽しい場所にするための活動」を行うためのヒントがきっと見つかることと思います。



【目次】

1 公園を活用したさまざまなイベントの事例

- 1-① 南 区：井土ヶ谷中町公園 ……お祭り、防災訓練など
- 1-② 港南区：東永谷桜台公園 ……子どもとお年寄りの交流など
- 1-③ 旭 区：都岡町公園 ……どんど焼き、こいのぼりなど
- 1-④ 磯子区：上中里公園 ……あじさい祭りなど
- 1-⑤ 磯子区：中原公園 ……ウメの植樹など
- 1-⑥ 金沢区：能見台中央公園 ……落ち葉の大清掃、花のプレゼント
- 1-⑦ 栄 区：桂山公園 ……三世代交流会
- 1-⑧ 栄 区：上之公園 ……野外ミーティング、餅つき大会など

2 公園や公園愛護会活動の課題を解決した事例

- 2-① 中 区：根岸旭台公園 ……参加人数不足の解消
- 2-② 港南区：みなみが丘公園 ……世代交代の実現
- 2-③ 港南区：東永谷桜台公園 ……花壇作りを契機とした活性化
- 2-④ 港南区：日野町原第一公園 ……学校との連携
- 2-⑤ 港南区：日の峰第一公園 ……技術支援を契機とした活動の活性化
- 2-⑥ 港南区：笹下中央公園 ……地域への働きかけ
- 2-⑦ 旭 区：都岡町公園 ……犬の放し飼い、ごみのポイ捨てへの対策
- 2-⑧ 旭 区：帷子川親水緑道 ……3つの愛護会の連携
- 2-⑨ 戸塚区：上矢部第二公園 ……利用者マナーの啓発

3 新しく公園愛護会を結成するときの事例

- 3-① 中 区：吉浜町公園 ……長く公園愛護会が無かった公園での結成
- 3-② 南 区：井戸が谷中町公園 ……街区公園の地域での活用
- 3-③ 磯子区：栗木花園緑地 ……花壇作りから始まった地域の名所
- 3-④ 磯子区：田中町第一公園 ……ボランティアから始まった公園愛護会
- 3-⑤ 金沢区：能見台中央公園 ……グループ活動が発展した公園愛護会
- 3-⑥ 金沢区：八景西公園 ……大規模マンションに隣接した公園の活用

4 新しい公園愛護会支援制度を活用した事例

■花壇作り

- 4-① 鶴見区：馬場第一公園・・・土木事務所と連携した花壇作り
- 4-② 神奈川区：神奈川通公園・・・花壇作りを契機とした公園の防犯
- 4-③ 西 区：宮ヶ谷第二公園・・・子ども会と連携した花の植え付け
- 4-④ 中 区：山元町五丁目公園・・・花壇による公園の美観作り
- 4-⑤ 南 区：別所第一公園・・・公園全体をきれいにする計画作り
- 4-⑥ 港北区：下田町4丁目公園・・・花壇がきっかけで地域の注目があがる
- 4-⑦ 緑 区：杉山原公園・・・既存の花壇作りの技術支援による発展

■堆肥置き場作り

- 4-⑧ 南 区：蒔田公園・・・堆肥作りと花壇の連携
- 4-⑨ 保土ヶ谷区：常盤台南公園・・・公園清掃の落ち葉の活用の事例
- 4-⑩ 緑 区：十日市場西公園・・・堆肥置き場の活用による周辺の活動の連携
- 4-⑪ 青葉区：あざみ野4丁目南公園・・・落ち葉清掃の省力化

■刈払機の貸出と安全講習の実施

- 4-⑫ 瀬谷区：瀬谷駅北口公園・・・刈払機講習、掲示板の活用による活動 PR
- 4-⑬ 旭 区：善部町南公園・・・愛護会の活性化のきっかけとしての技術支援

■樹名板づくりと取り付け

- 4-⑭ 保土ヶ谷区：仏向矢シ塚公園・・・子どもたちが主体となって取り組んだ事例
- 4-⑮ 都筑区：宿の入公園・・・子ども会と連携して活動を行った事例

1 公園を活用したさまざまなイベントの事例

公園は、事前に手続きを行うことで、公園愛護会などが主催となった、お祭りやフリーマーケットなどの地域行事の場として活用することができます。

こうした行事を開催すると、公園愛護会の活動を地域に広げていく上で大きな効果があります。

☆公園をイベントで活用する場合のポイント

公園を使用するにあたり、事前の届出が必要になる場合があります。

公園を管理する所管の事務所にご相談ください。

※先にお配りした公園愛護会マニュアルのうち
【7章 公園における許可手続】
【8章 イベントを開催するに当たってのQ&A】
をご参照ください



報告者：岡本
報告日：05年3月

井土ヶ谷中町公園愛護会 井土ヶ谷中町公園

(南区井土ヶ谷中町 146-10、街区公園、776 m²)

イベント：お祭り、防災訓練

愛護会と公園の概要

- 大島鉄工所跡地に建設されたマンションの提供公園である。
- 地元でも近くに公園が出来たということで、自分達で育てていきたいという思いがあった。
- 愛護会メンバーは 10 名程度で、連絡を取り合いながら活動を行っている。
- お祭りや防災訓練などが自治会の主催で行われており、地域の活性化に努めている。
- 花壇づくりにも力を入れており、土木事務所から花の種の提供を受け、スイートピーなどを育てている。

お祭り

主催

井土ヶ谷中町第二自治会

概要

- 公園ができる以前は道路や空き地などで許可を取り行っていた。
- みこしや山車が町内を練り歩き、公園には模擬店が出店される。
- 模擬店は、子供会、婦人部、あやめ会（老人会）が分担を決めて出店する。
- やきそば、わたがし、ダーツ、輪投げ、くじ引き、アメリカンドッグ、フライドポテト、つかみ取り、おでん、焼きとうもろこし、ラムネ、ビール、ヨーヨーなど
- 自治会で 100 円の引換券を配る。
- 500 名以上の参加があり、他の地域からの参加者も多い。

防災訓練

主催

井土ヶ谷中町第二自治会

概要

- 炊き出しを行うほか、焼きいもやわたがしも配り、130 名の参加があった。
- 大岡消防団からは団員の皆さん 19 名が参加。

イベントの効果、今後の展開

計画づくりから実施まで大変な苦労があるが、地域の親睦を深め、地域の活性化にも効果があることから、やりがいを感じている。

報告者：岡本
報告日：05年3月



お祭りの様子



防災訓練。(写真左) 手前に見えるのが炊き出し用の釜、中央がドラム缶を半分に切った焼きいも用。(写真右) わたがしに並ぶ子供達。

報告者：川島
報告日：05年3月

東永谷桜台公園愛護会 東永谷桜台町公園

(港南区東永谷 1-15、街区公園、3,521 m²)

イベント：盆踊り大会、お楽しみ会、小学校との交流

愛護会と公園の概要

- もとは、桜台青少年広場として地元で利用されていたものを、平成2年に公園として再整備され、公開された。公開と同時に愛護会も結成されている。
- 自治会内に公園管理部が設けられ、公園内の見回りやごみ分別、週一回の清掃は町内22班が当番制で行っている。
- 平成7年芝生だったところに、草が生い茂り、植栽の枯れた部分が目に付くようになってきたので、南部公園緑地事務所に相談し、花壇作りの許可を得て、花好きのグループの有志による桜台花グループが結成された。
- 現在大小7箇所の花壇、大2、小50ケのプランターを管理している。現在では他の愛護会の方が見学に来るほど、大変美しい公園(花壇)となっている。
- 平成11年には「花と街並み市長賞」を授与された。

盆踊り大会

主催

自治会

概要

毎年開催され、300名もの地域住民が参加する。屋台などのほか、東永谷中学校吹奏楽部の演奏もあり、地域あげての大イベントになっている。

子どもとお年寄りの交流

主催

自治会

概要

春と秋に開催され、100名以上の参加者がある。横浜緋桜のお花見会や、子供とお年寄りのゲートボールやペタンク大会などにより、世代間の交流を図っている。

地域との交流

主催

桜台花グループ

概要

小学校が課外授業として行っている公園での花植えや花の観察会、写生会などのサポートを行っている。
公園に遊びに来ている若い親子連れに声をかけ、球根や苗の植え付け作業に参加してもらうほか、種から育てた花を自治会員や公園に来た人にプレゼントし地域にも花作りを広げている

イベントの効果、今後の展開

この公園が子供達の「心のふるさと」になるようにしていきたい。

報告者：川島
報告日：05年3月

園内の横浜緋桜



「花の会」による
四季折々の花が楽しめる花壇づくり



報告者：浅見
報告日：06年1月12日

都岡町公園愛護会 都岡町公園

(旭区都岡町 66-1、街区公園、3,021 m²)

イベント：どんど焼き、鯉のぼり、子供お楽しみ会、とうもろこし狩り、餅つき大会など

愛護会と公園の概要

■公園のほとんどは芝生で覆われており、活発な維持活動によって良好な状態に保たれている。はだしでも安心して遊べる公園として、天気の良い日には子供連れのお母さん達が多く訪れる。

■公園の維持活動を日常的に実施している（毎朝夕の見回り・清掃・毎月の芝刈り・定期的な中低木の剪定刈り込み／9名～14名）

■公園の維持活動には保有している自走式の芝刈り機を使用、刈込ハサミ18丁、鎌50丁等その他道具もそろっており、その備品の日常的な手入れ等も愛護会で処理しており、チームワークも良く、全ての作業を行政に頼らず独自で行っている。維持費用（修繕費等）については都岡町内会が協力している。

■花壇づくりでは、11月にパンジー200苗を自主購入し公園利用者や沿道の人々の目を楽しませている。

どんど焼き

主催

都岡町内会公園部（＝愛護会）

概要

1/9 実施。約 180 名が参加。

鯉のぼり

主催

都岡町内会公園部（＝愛護会）

概要

4/17～5/8 実施。35 匹の鯉のぼりを飾った。

子供お楽しみ会

主催

都岡町内会公園部（愛護会）

概要

5/3 実施。約 250 名が参加。

とうもろこし狩り

主催

町内子供会

概要

7/17 実施。約 120 名が参加。

餅つき大会

主催

都岡町内会公園部（＝愛護会）

概要

12/4 実施。約 250 名が参加。1 パック餅 2 個 50 円。売上の 25,450 円は旭区社会福祉協議会へ寄附。

報告者：浅見
報告日：06年1月12日

イベントの効果、今後の展開

イベントには毎年多くの住民が参加し、地域コミュニティの活性化に貢献している。

はだしで遊べる公園。
ゴミもほとんどない。



どんど焼き

七夕



鯉のぼり

子供お楽しみ会



報告者：川島
報告日：06年2月

上中里公園愛護会 上中里公園

(磯子区上中里町1031、近隣公園、10,679 m²)

イベント：あじさい祭り など

愛護会と公園の概要

- 上中里団地の完成に合わせて昭和50年に公開された。
- 園内にはサクラが植えられており、毎年多くの住民が花見に訪れるが、「心を豊かにしてくれる花をもっと植えたい」ということで、団地の周りに植えられていたあじさいを、公園緑地事務所の許可を得て移植した。以来、自治会の緑化委員会と愛護会のメンバーが、挿し木で増やしたものや珍しい品種を持ち寄り、現在では約200株のあじさいが、毎年見事な花を咲かせている。
- 公園だけでなく地域全体の緑化や、世代を超えた交流が盛んに行われており、平成2年には内閣総理大臣より表彰を受けた。築31年と古い団地であるにもかかわらず入居したいという人も多く、地域をあげて取り組んでいる緑化活動やコミュニティづくりによって、団地の資産価値向上に貢献している。
- 日常的な公園の維持管理については、12名の愛護会員が適宜行っているほか、管理組合の公募によって集まった団地の奥さん10名の清掃チームが週3回、公園を含めた団地内の清掃を行っている。子供会を中心とした年2回の大清掃を行っているほか、年末の大掃除には多くの住民が参加し、公園を始め地域の美化に努めている。
- 7月には役員の皆さんが、あじさいの花後の手入れや剪定を行っている。

あじさい祭り

主催：愛護会

毎年6月の日曜日、あじさいの開花日に合わせ開催。300人以上が参加。団地の住民のほか、小学校の先生も参加し、地区外からの参加も多い。
毎年あじさいの植樹が行われるほか、焼きそば、ジュース、ビールなどの模擬店も出て、住民同士の交流が図られる。

その他のイベント

盆踊り大会、餅つき大会、大清掃とその後の子供会の綱引き大会、防災訓練
子供達がこの団地を「ふるさと」と思ってくれるように、という思いで、様々なイベントが開催されている。

イベントの効果

もともとは団地住民のモラルの意識は低かった。イベントの開催により普段は公園とかかわりの薄い若いお父さん、お母さんが公園に集まり、意識高揚に貢献している。若い世代の自治会離れに対しても効果がある。
現在では公園はあじさいの名所となり、団地のイメージアップ、資産価値向上にも貢献している。

報告者：川島
報告日：06年2月



あじさい祭り



餅つき大会



大清掃後の綱引き大会



報告者：川島
報告日：05年3月

中原公園愛護会 中原公園

(磯子区中原 3-5、街区公園、3,239 m²)

イベント：梅の植樹、盆踊り、防災訓練など

愛護会と公園の概要

中原公園は古くからの住宅街の一角に昭和 53 年にオープンした。中原地区では初めての公園であり、「地域の庭として子供達が安心して遊べるよう、地元で守っていききたい」とのことで、当時の自治会長が初代会長に就任した。

また、オープン当時は子供も多く、遊び場に困っていたので、中原公園は地元で大変歓迎された。ただ、オープン当時は小さな公園であり、高層マンションの建設や住宅地の開発などで子供の数も大幅に増え、「この広さでは子供達も安心して遊べないし、災害時の避難場所としても問題がある」と、会長が緑政局と地主さん達と交渉を行った。その結果、現在のような広い公園にリニューアルされ、愛護会のメンバーも拡大していった。

現在は老人クラブのうちの 18 名がほぼ毎週公園の清掃を行っているほか、グラウンドゴルフのメンバーは練習の合間に清掃を行い、毎日散歩に来る人や近所の人も随時ゴミ拾いを行っている。いつもきれいな公園で、子供達も安心して遊んでいる。

梅の植樹

磯子区はかつて梅（杉田梅）の栽培が盛んであったが、近年この杉田梅は「まぼろしの梅」といわれ、旧家の敷地に少数が点在しているのみであった。

会長は「杉田梅愛好会」を発足させ、磯子区 6 万世帯のうちの半分 3 万世帯に梅を一本ずつ植え、磯子区を梅でいっぱいにするという目標に向けて、様々な活動を行っている。

中原公園でも植樹などを行っており、現在では 20 本にまでなっている。

梅の花が咲く頃には、児童とお花見会、花の観察会を開催し、収穫した実は、児童が梅ジュースや梅干を作るなど、学校の教材としても活用している。

地域のお楽しみ会

主催

自治会

概要

他の自治会からの参加もあり、毎年 300 人以上が参加する。

防災訓練

主催

自治会

概要

年 2 回行われ、地区の住民や学校、福祉施設などから 300 名以上が参加。

イベントの効果、今後の展開

上記のイベントやラジオ体操などを通して、地域の新旧の住民が交流を図り、特に若い世代に地域や公園に関心を持ってもらう場として、効果を発揮している。

報告者：川島
報告日：05年3月



公園の全景



植栽された梅

報告者：川島
報告日：05年12月

能見台中央公園愛護会 能見台中央公園

(金沢区能見台三丁目50-1、近隣公園、28,865 m²)

イベント：落ち葉の大清掃、花のプレゼント、会報の発行

愛護会と公園の概要

- 金沢区のほぼ中央に位置し、閑静な住宅街に囲まれた公園である。
- 少年野球場やテニスコートがある、大規模な公園である。
- 毎日誰かが見回りをしており、広い近隣公園ではあるが、ゴミがほとんど落ちていない。
- 町内会や小学校などとの協働による活動もいろいろ行われている。
- 公園でのバザーの収益などによって、清掃用具を入れる愛護会の倉庫や花苗の購入を行っている。
- 平成14年には横浜市公園愛護のつどいで特別表彰を受け、平成15年には横浜市公園愛護のつどいの発表者として当時の会長が特別講演を行った。平成16年には国交省より「環境保全に尽くされている団体」として表彰を受けた。

落ち葉の大清掃

毎年恒例の行事として能見台小学校の4年生との大清掃を行っている。課外授業の一環として、約100人の児童が参加する。

花のプレゼント

町内会のボランティア組織である「ふれあい安心会」との協働で、年2回、花壇の花や、木の実・花などでつくったフラワーアレンジメントを、高齢者や一人暮らしの方にプレゼントしている。

会報の発行

毎月カラフルな会報「ミモザ便り」が発行され、会員とのコミュニケーションや土木事務所への報告に用いられるほか、掲示板に張り出され、来園者に対するPRにも活用されている。
内容は、その月に行われた活動や今後の活動予定、会計報告などで、カラー写真入りの美しい誌面となっている。

イベントの効果

小学校との協働による大清掃を通して、児童の公園や愛護会活動に対する関心が高まった。この他にも、理科の授業に「一年を通して樹木を観察する」というものがあり、この一環として園内の樹木に樹名板が取り付けられた。児童の学習のみでなく、来園者にとってもよい勉強になっている。会報などのPRの効果もあり、犬の散歩に来る人など、愛護会メンバーではなくても、ゴミ袋を持参し、進んでゴミを拾っている。

報告者：川島
報告日：05年12月



能見台小学校4年生と
の大清掃の様子。



全部で200袋を超える落ち葉
があつまったとのこと



報告者：岡本
報告日：06年2月

桂山公園愛護会 桂山公園

(栄区桂台中 16、近隣公園、11,688 m²)

イベント：三世代交流会

愛護会と公園の概要

■桂山公園は敷地の半分に山が残されており、住宅地の中の、緑の多い公園である。地域の子育ての場として、高齢者の憩いの場として、桂台地区の中心的広場として、様々な世代に利用されている。

■以前から設置されていたバスケットボールのゴールについて、マナーの悪い利用者が多いことから撤去を求める声があったが、地域の声を広く聞いた結果、「まちを活性化するには子ども達が楽しく遊べる場所が必要」という自治会の結論と小中学校からの「残して欲しい」という要望もあったことから、住宅地側から少し話した場所に移設されることになった。

三世代交流会

主催

■自治会

概要

■毎年 11 月にレクリエーションの集い「三世代交流会」を開催している。子どもから父母、祖父母までみんなが参加して、パン食い競争、スプーン競争、綱引き、大縄跳びなどのほか、鳥の巣箱作り、竹馬、竹とんぼ作り、けん玉遊びなども行われる。参加者にはいも煮汁やおにぎりが振舞われる。毎年 700 名を超える住民が参加する。

イベントの効果、今後の展開

■さまざまな世代が交流する機会が必要ということで、「三世代交流会」などのイベントが企画されており、まちを出て行った若い世代の人たちが、再びまちに戻り、生活できるような環境づくりを目指している。

■樹木に囲まれたすばらしい公園をみんなで守りながら、より立体的な活用を計るとともに、地域の情報発信基地にしたいと考えている。

■平成 16 年度以降、桂台小学校、矢沢小学校に声をかけ、一年生の児童とともに樹名板づくりを行っている。

樹名版の裏側には樹名板をつけた子どもの名前が入れられている。

■このような活動を通じて、子ども達の成長と公園に愛着を感じてもらい、長く地域を愛することを願っている。

報告者：岡本
報告日：06年2月



桂台小学校、矢沢小学校の児童
と行った樹名板づくりの様子



樹名板づくりの後は子ども達
で公園の清掃を。



報告者：岡本
報告日：06年2月

上之公園愛護会 上之公園

(栄区上之町 38、街区公園、1,200 m²)

イベント：野外ミーティング、餅つき大会など

愛護会と公園の概要

- 昭和 48 年に公開された公園で、閑静な住宅地に囲まれている。
- 地域の老人クラブ「寿百々会」が愛護会活動を行っている。(会員 38 名)

野外ミーティング

毎月 3 回～5 回の集団清掃の後に、野外ミーティングを行っている。野外ミーティングでは、清掃作業の反省会や、シニアクラブの活動の連絡などが行われ、時には栄警察署より講師を招き、安全や防犯の指導をしてもらっている。

野外ミーティングは楽しいコミュニケーションの場であり、愛護会のメンバーも増える傾向にある。

餅つき大会

主催

上之町内会

概要

毎年 12 月に実施。広報車で町内を回り、参加を呼びかける。平成 17 年の餅つき大会では 800 人を超える人たちが参加し、お雑煮やあんこ餅、きなこ餅などが参加者に振舞われた。用意されたもち米は 80k g。

その他

「鯉のぼり祭」町内会の恒例行事。公園を鯉のぼりが泳ぐ。

「藤見会」

「上之ウォーキング」

「全国社会奉仕統一活動」 など

イベントの効果、今後の展開

愛護会のメンバー増加のみでなく、地域コミュニティの活性化にも貢献している。

報告者：岡本
報告日：06年2月

野外ミーティング



餅つき大会

鯉のぼり



社会奉仕活動

2 公園や公園愛護会活動の課題を解決した事例

公園愛護会の皆様からいただくご相談のうち特に多いのが、活動へ参加する人が限られていて参加者がなかなか増えないといった活動に関するご相談、そして、公園利用者のマナーに関するお困りごとです。

どちらも難しい問題ですが、公園愛護会の皆さんのすばらしい努力によって、課題を解決した事例があります。

☆公園愛護会の課題解決方法のヒント

参加者を募るためには、公園愛護会の活動を積極的にPRすることが重要です。

公園現地に看板を設置したり、自治会の掲示板や回覧板に載せたり、口コミで声をかけるといった方法を複数組み合わせるとというのが、効果があるようです。

※先にお配りした公園愛護会マニュアルのうち
【5章 愛護会の活動方法】
をご参照ください



報告者：岡本
報告日：06年2月

根岸旭台公園愛護会 根岸旭台公園

(中区根岸旭台57-11、街区公園、475 m²)

課題：参加人数不足

愛護会と公園の概要

- 根岸小学校の裏、根岸八幡神社の脇の階段を登りきった、高台で眺望の良い地域にある公園。
- マンションに囲まれるように公園があり、外国人の住民が多いことも地域の特徴。
- 公園の清掃のほか、種から花苗を育てて花壇づくりを行っている。マリーゴールド、キバナコスモス、コスモス、オシロイバナ、ナノハナなど。公園に咲いた花の種を収穫し、時期を見てプランターに蒔き、育った花苗を地域の親子と一緒に公園の花壇に植え付けている。
- ミニトマトやカボチャ、ブルーベリー、キンカンなど実のなる植物を育て、子ども達と観察会を行っている。
- コンポスト容器を購入し、雑草や落ち葉のほか、生ゴミなども混ぜて、花壇用の堆肥を作っている。
- イベントを通じた子育て支援を行っている。紙芝居、ブーメラン、凧作り、公園内の木の実を拾ってお手玉作り、ビニールプールでの水遊びなど。

参加者不足

対策内容

- 小さな公園であり、愛護会員も少人数である。
- 「清掃をしましょう」と呼びかけてもなかなか人は集まらない。そこで、「公園をきれいにしてみんなで遊びましょう」と、凧やブーメラン作りなどのイベントと清掃をセットにして地域に参加を呼びかけた。
- イベントの案内を作成し、近隣のマンション入口や公園の近辺に貼って、地域住民の参加を促した。

対策の効果

- 子ども達や若いお母さん達が公園に関心を持ち、清掃に参加してくれるようになった。
- 愛護会活動をはじめた頃、一緒に活動をしていた子ども達が、今では中高生になっている。公園で清掃をしていると「おばちゃん、元気？」と声をかけてくれることも。

今後の展開

地域に小さな子どものいる家庭が少なくなってきており、子育て世代が中心となっていた愛護会の次の世代を育てる必要がある。

報告者：岡本
報告日：06年2月



子育て支援の一環として、公園での清掃や様々なイベントを行っている。



砂場での犬や猫のフン対策としてシートをかけている。

報告者：川島
報告日：06年2月

みなみが丘公園愛護会 みなみが丘公園

(港南区港南台五丁目17、街区公園、4,623 m²)

課題：世代交代

愛護会活動母体の交代

■開園以来20数年間、老人会が愛護会活動を行ってきた。メンバーの高齢化と会員の減少により老人会有志による愛護会活動を解散し、自治会に戻すことになった。

■これまでは、自治会や地域住民も、老人会が清掃活動をしている公園、ということで、公園に対する関心も薄く、自然に任せた公園となっていた。

活性化に至る経緯

■「わが町の公園なのだから、自分達の手できれいにし、道行く人の心を和ませ、子ども達も安心して遊べる公園にしよう」と、自治会評議員を中心に活動を再開した。翌年、新たにボランティア会員を募り、第二期公園愛護会を発足した。除草、清掃、樹木の手入れ、遊具施設の安全管理等のほか、四季花のある公園を目指し花壇作りを積極的に取り入れ3年が経過している。現在会員は12名。

現在の状況

■花壇づくり：園内の花壇のほか、道行く人も楽しめるようにと公園周辺でのワイルドフラワー花壇に取り組んでいる（平成16年度に緑の協会「花かおる街角」による助成を受けている）。

■小学校との協働：熱心な愛護会活動を見た港南台第二小学校より、「うちの学校の児童が良く遊ぶ公園だから」とマリーゴールド200株の寄贈を受け、児童と愛護会で花植えを行った。これを機に、園内に港南台第二小学校の花壇を設置し、毎年児童と花植えを行っている。このような活動を通して、児童の愛護会に対する関心が高まっている。

■Aコースの技術支援：みなみが丘公園愛護会の主催で、花壇講習会、低木の刈り込み講習会、堆肥の作り方講習会を開催。愛護会長が近隣の愛護会に呼びかけを行い、6団体30名の参加のもと、平成17年10月に実施した。参加者の自己紹介に続いて、各講習が行われ、参加者からは「大変役に立つ有意義な講習会でした」との声があがっていた。

今後の展開

- 地域防犯という観点から、公園の環境維持活動を充実させていきたい。
- 自治会活動と愛護会との連携や、小学校との交流事業の充実を図りたい。
- 技術支援の活用や、堆肥の有効活用について検討していきたい。

報告者：川島
報告日：06年2月

園内の花壇

公園でのゲートボール



近隣の愛護会も参加しての花壇づくり

愛護会主催の堆肥づくり講習会



報告者：川島
報告日：06年3月

東永谷桜台公園愛護会 東永谷桜台町公園

(港南区東永谷 1-15、街区公園、3,521 m²)

課題：活動の停滞

活動が停滞していた背景

- もとは、桜台青少年広場として地元で利用されていたものを、平成2年に公園として再整備され、公開された。公開と同時に愛護会も結成されている。
- 公開当時は、利用者も少なく、草ぼうぼうの荒れた公園となっており、地元の関心も低く、環境面、治安面などで不安のある公園であった。

活性化に至る経緯

- 平成7年、荒れた公園を見かねた花好きのグループが南部公園緑地事務所に相談し、有志による桜台花グループが結成された。
- 清掃の際には、作業の内容やごみの量などを伝達するための連絡ノートを使用したり、年2回の大掃除は重要な年間行事とするなど、自治会あげての組織的な公園美化活動を行うようになった。
- 花壇作りの活動費は、愛護会費のほか自治会費も予算化されて充当されており、活動の大きな力となっている。

現在の状況

- 公園清掃は週1回自治会22班の持ち回りで実施。春秋には自治会全体(190名)で公園およびその周辺の大清掃を行っている。
- 公園の見回りやゴミ拾いは、公園管理部2名がほぼ毎日行い、「花グループ」や「防犯パトロール隊」のメンバーも活動日を中心に行っている。
- 「花グループ」の活動
公園を訪れる親子やお年寄りなどに参加してもらい、地域交流を深めながら、球根や花苗の植付けを行っている。また、下永谷小学校が課外授業の一環として行っている、公園での花の植付けや観察会、写生会などのサポートを行っている。
会員がタネから花苗を育てており、自治会や子供会にその苗を提供し、各家庭に花を咲かせている。また、落ち葉を活用し堆肥づくりなどを行っている。
「公園花だより」を発行し、PRに努めている。
- 現在では他の愛護会の方が見学に来るほど、大変美しい公園(花壇)となっている。平成11年には「花と街並み市長賞」を授与された。

現在の状況

- 「1年中花のあるきれいな公園」として地域に親しまれる公園を維持していけるよう、無理をせず続けていきたい。
- 心無い人たちによる花壇フェンスの破壊行為や犬の散歩マナー、花の盗難などにどう対処したらよいか考えていく必要がある。

報告者：川島
報告日：06年3月



一年中花が絶えることない花壇。うしろが「花グループ」メンバー



公園内の横浜緋桜は毎年濃いピンクの花を咲かせる

報告者：川島
報告日：06年3月

日野町原第一公園ほか2公園愛護会 日野町原第一公園ほか2公園

(港南区日野南5-19、街区公園、2,760㎡)

課題：活動の停滞

活動が停滞していた背景

- 港南区の端の栄区に接した地域にある公園。閑静な一戸建ての住宅地に囲まれている。
- 十数年前の日野町原第一公園は、見通しが悪く、暗くて子供達もあまり遊ばないような公園であった。

活性化に至る経緯

- 日野町原第一公園の前に住んでいる現愛護会長が、「自分の庭みたいなものだし、公園の前は通学路にもなっているので、きれいにしよう」と思ったのが愛護会活動をはじめたきっかけ。
- 現愛護会長が自治会の環境委員になったのをきっかけに、第一公園のほか、第二公園、野庭表町公園の町内3公園の清掃活動を行い、花壇づくりや刈払機を使った草刈、低木の剪定など、本格的な愛護会活動に取り組むようになった。
- 日野南小学校との連携：公園で清掃をしている時、野外授業で通りかかった日野南小学校の先生が、生徒に「ね！みんなが何気なく遊んでいる公園も、地元の方達がこのようにきれいにしてくれているから、安心して遊べるんだよ。みんなでゴミ拾いをしよう！」と手伝ってくれたのがきっかけ。その後「子供達に花の植え方や育て方を、実際にやりながら教えて欲しい」と申し入れがあり、公園緑地事務所と相談の上、公園に小学校の花壇を手作りした。以降、毎年2年生の野外授業の一環として、花づくりに取り組んでいる。
- 日野南中学校との連携：自治会長と日野南中学校の校長先生が話をしている折、「野外授業の一環として地域の役に立つことをしたい」との相談があり、「それなら公園などの清掃を地元とタイアップしてやっていこう」ということで、協働での活動を行うようになった。

現在の状況

愛護会活動は地元の方たちと小学校の児童、中学校の生徒、父母会のお父さん、お母さんたちが一緒になって行っている。お兄ちゃん、お姉ちゃん、お母さんが和気あいあいと公園清掃を行っており、他ではあまり例のない、ほほえましい活動を通して、交流を図っている。

今後の展開

愛護会のメンバーをもっと増やしていきたい。できれば3つの公園にそれぞれ会長を置いて、もっときめ細かな活動を行いたい。

報告者：川島
報告日：06年3月



小学校の花壇での花植え



日野町原第一公園のリニューアルオープニングセレモニー。自治会誌「そよかぜ」で、公園のリニューアルの時期、どのように生まれ変わるかなどを掲載し、地元の方たちに関心を持ってもらえるよう努めた。



報告者：川島
報告日：06年2月

日の峰第一公園愛護会 日の峰第一公園

(港南区港南台八丁目31、街区公園、2,900㎡)

課題：活動の停滞

活動が停滞していた背景

- 自治会の環境整備部が愛護会を担当しており、メンバーおよび会長は毎年交代していた。
- 地域の目が届いておらず、荒れた公園であった。

活性化に至る経緯

- 平成17年度に担当となった6名が、「子供達が安心して遊べるように、地域の庭であるこの公園をきれいしよう!」と、地域の人たちに声をかけた。
- 港南土木事務所とコンタクトを取っているうちに、Aコースでいろいろな講習を受けられることを知り、平成17年度は、花壇づくり、刈払機、中低木の管理の3つの講習を受講した。

現在の状況

- 月に1~2回、7名で分かれて、第一公園と日の峰第二公園を、1~2時間かけて清掃、草刈を行っている。
- 清掃、草刈のほか、刈払機を使った草刈、樹木の手入れの講習会を開催予定。ゴミ分別の徹底、不法投棄の状況確認などの活動を行っている。
- これまで花のなかった公園であるが、地域の人たちに声をかけて花壇を整備した。

今後の展開

- 次年度以降は、愛護会を独立したボランティア組織として、継続的な活動を行えるよう検討している。
- 地域の公園が、子供達にとって安全な場所であるよう、みんなで見守っていきたい。

報告者：川島
報告日：06年2月



花壇づくり講習の様子



低木の管理講習（上）と刈払機講習（左）



報告者：川島
報告日：06年3月

笹下中央公園愛護会 笹下中央公園

(港南区笹下五丁目 3714-1、近隣公園、7,384 m²)

課題：活動の停滞

活動が停滞していた背景

- 高台に位置し、磯子金沢方面を海まで見渡せる眺めが良く、大半は芝生で覆われた開放的な公園。
- 町内には4つの公園があり、それぞれ雑色町内会が愛護会をつくっている。笹下中央公園も開園と同時に愛護会を結成している。
- 各公園の愛護会長は毎年持ち回りで交代していたことから、義務的に活動を行っているところもあって、公園や愛護会に対する意識や認識の薄い傾向にあった。
- ある愛護会では、町内会に相談もなく「愛護会を解散したい」と申し出るような事件も発生。
- 笹下中央公園では、芝生の面積が大きいことから南部公園緑地事務所による年2回の草刈では追いつかず、雑草が生い茂り、不法投棄も多い公園であった。

活性化に至る経緯

- 熱心な方が町内会の環境部長となり、住民の公園に対する意識が低いこと、愛護会の認知度が低いことを改善しようと、事務所に何度も足を運び、他の地区での活動などを勉強され、持ち帰った資料で町内会役員に働きかけを行い、さらには住民に回覧するなどして、意識高揚を図った。
- この結果住民の公園に対する意識や愛護会に対する認識は飛躍的に高まった。
- 笹下中央公園では広い芝生広場を管理するため、町内会で3台の刈払機を購入し、随時草刈を行っている。
- 近所の花好きの方(現愛護会長)「さらにきれいに潤いのある公園にしたい」と事務所に相談の上、花壇づくりを始めるようになった。始めは自宅の草花を植えたりしていたが、きれいになっていく公園を見た近所の方や利用者の方たちが苗や種を持ち寄り、年中利用者の目を楽しませる花壇となった。
- 平成17年はじめのころは会長夫妻が活動を行っていたが、お手伝いの方が次第に増え、現在では10数名の愛護会となっている。愛護会メンバーの誰かが、毎日水やりや清掃、公園の見回りを行っている。

現在の状況

- 「はないっばいイベント」笹下中央公園を花いっぱいにするため、町内会や近所の方たちにマリーゴールドとサルビアの苗を育ててもらい、半分は自宅の庭に、半分は公園にというイベント。平成18年5月に実施予定。
- 広い芝生広場では犬の散歩も多く、フンを放置する利用者も少なくない。土木事務所とタイアップして、利用者の方に対し犬の散歩マナーの啓発を行った。
- その他、日下小学校との公園清掃、夏の盆踊り、愛護会でのバーベキューなど、様々な活動を行っている。

報告者：川島
報告日：06年3月



広大な芝生広場での草刈



↑カルマー講習↓



草刈を終えてホッと一息



園内の小さな花壇

報告者：浅見
報告日：06年1月12日

都岡町公園愛護会 都岡町公園

(旭区都岡町 66-1、街区公園、3,021 m²)

課題：犬猫、ゴミ、利用者マナー、防犯

愛護会と公園の概要

■公園のほとんどは芝生で覆われており、活発な維持活動によって良好な状態に保たれている。はだしでも安心して遊べる公園として、天気の良い日には子供連れのお母さん達が多く訪れる。

■公園の維持活動を日常的に実施している（毎朝夕の見回り・清掃・毎月の芝刈り・定期的な中低木の剪定刈り込み／9名～14名）

■公園の維持活動には保有している自走式の芝刈り機を使用、刈込ハサミ18丁、鎌50丁等その他道具もそろっており、その備品の日常的な手入れ等も愛護会で処理しており、チームワークも良く、全ての作業を行政に頼らず独自で行っている。維持費用（修繕費等）については都岡町内会が協力している。

■花壇づくりでは、11月にパンジー200苗を自主購入し公園利用者や沿道の人々の目を楽しませてくれる。

犬猫対策

対策内容

愛護会員が順番に公園にいるようにし、放し飼いの注意を行うと同時に、フン処理に関しては広告紙で簡易箱を作り、飼い主に渡して、モラルの啓蒙をしている。

愛護会の方の声

根気よくPRすることで、大変フンが少なくなっています。

ゴミ対策

対策内容

本公園は、旭区内公園で唯一のゴミ箱設置公園。毎朝ゴミ箱のゴミは会長宅に持ち帰り、分別してゴミ出し日に処理している。また、ポイ捨てを見た場合はゴミ箱へ捨てるよう指導している。

愛護会の方の声

中高生へのPRを重点にしています。顔見知りになることで意思疎通ができ、ポイ捨てが少なくなっています。

防犯対策

対策内容

園内夜間パトロール実施（2～3名・7月～8月金・土・日の18:00～20:00）。中学校・家庭・地域（学家地連）との定期連絡会に出席し、特に中学生の非行化防止に関して連携をとっている（公園内での出来事もテーマに出して話し合っている）。

対策の効果

公園で声かけを行った結果、最近は中学生の方から声をかけてくるようになった。

報告者：浅見
報告日：06年1月12日



はだしで遊べる公園。
ゴミもほとんどない。



通り沿いの花壇。
花苗は愛護会で購入し
ている。



報告者：岡本
報告日：06年3月

帷子川親水緑道の3愛護会 帷子川親水緑道

(旭区白根 1-1 ほか、緑道)

3つの愛護会の連携による緑道づくり

緑道と愛護会の概要

- 「水と緑と歴史のプロムナード事業」の一環として、旧河川と沿川に残っている自然を利用し、せせらぎの流れる魅力ある親水空間として整備された緑道。
- 緑道公開当時は、地域には一切迷惑をかけないということで愛護会結成の話はなかったが、平成 12 年に「地域の公園なのだから地域の力できれいにしていこう」と3地区で順次愛護会が結成され、活動を始めた。
- 緑道がいくつかの町内にまたがっているため、区域を3分割し、鶴ヶ峰地区、白根地区、家敷地区のそれぞれで愛護会を結成している。地区ごとに、自治会、町内会、地元の有志などと異なった組織を母体としており、また、管理する面積や活動日なども異なるが、うまく連携し、活発な活動を行っている。
- 緑道に沿った道路の違法駐輪の排除に協力し、現在では1台もなくなった。(多い時には230台もあった)
- 四季折々の野鳥が生息する緑道なので、バードウォッチングや写真愛好家、俳句の会、草花の愛好家など、おおくの人が訪れる。

鶴ヶ峰地区の活動内容

定期清掃(週1度)、竹林の手入れ、商店街協力のもと防犯パトロールの実施、ご苦労さん会、花見、暑気払い、忘年会など

白根地区の活動内容

毎月第2・4水曜日の午後に定期清掃、川の中のゴミ拾い、竹林の手入れ、緑道に面した家でも緑道の清掃にあわせるように自宅周りの草刈を始める、毎年2月の駅伝・タイムラリー大会、活動後にはみんなでお茶を頂く

家敷地区の活動内容

月に2回の定期清掃、川の中のゴミ拾い、秋の落ち葉は近所の人たちが堆肥として使えるようまとめて置いておく、緑道に接した民有地の崖の見回り、つり橋の点検

今後の展開と課題

- 水辺に花を植えたり花壇をつくるなど、地域に愛される緑道を目指す。
- かつてはホタルや魚がたくさん住んでいた。ホタルの再生をしたい。
- メンバーが高齢化しているので、若い人たちを巻き込んでいきたい。
- 犬のフンやゴミのポイ捨てなど、少なくともはなったがまだマナー不足。

報告者：岡本
報告日：06年3月



鶴ヶ峰地区
池や庭園のあるゾーン。
落ち着いた空間が
広がっており、憩いを求
めてくる人も多い。

白根地区
せせらぎのゾーン。
自然豊かな風景が広
がる。



家敷地区
広場のあるゾーン。白根
地区同様、自然豊かな環
境が保たれている。

報告者：岡本
報告日：06年3月

上矢部第二公園愛護会 上矢部第二公園

(戸塚区上矢部町 2189-1、街区公園、609 m²)

課題：利用者マナー、地域の理解不足

愛護会と公園の概要

■昭和 50 年に空地を整備し、上矢部第二公園が開園となった。平成 15 年には全面的な改修工事が行われ、花壇が整備された。花壇が出来たことをきっかけに、清掃時に花苗の植付けをしてもらうなど、活動の内容に広がりができ、公園にも親しみを持ってもらえるようになった。

■工業団地にはさまれた比較的新しい住宅地に公園がある。古くからの住民と新しい住民が混在し、幅広い年齢層が居住している地域。周辺の町からは離れているので、地域としてのまとまりは良好。

■通常は町内会の班ごとに担当月を決めて活動を行っているが、数年前からは年 2 回の「大清掃」として、全世帯に呼びかけて、上矢部第三公園との合同清掃活動を行っている。

利用者マナー、地域の理解不足対策

対策内容

公園利用のマナー啓発や、活動に対して消極的な人たちへの PR や、地域の人たちへの情報伝達手段として「公園愛護会だより」を発行した。

大清掃の報告や植物の生育状況、犬のフンやゴミなどマナーの啓発に関する内容などが盛り込まれている。

対策の効果

「公園愛護会だより」の発行を続けることにより、地域住民とのコミュニケーションが深まり、活動の内容を知ってもらえるようになった。

今後の展開

今後は積極的な活動への参加促進や、さらなる公園利用のマナー向上に努めていく。

報告者：岡本
報告日：06年3月

公園愛護会だより No.1

平成15年6月23日
上大塚第2・第3公園

◎公園大清掃へのご協力ありがとうございました！◎

去る6月15日(日)、恒例の、上大塚第2・第3公園合同大清掃を行いました。いまでも降り出しそうな曇り空にもかかわらず、早朝から70名ほどの皆様が集まってくれました。おかげさまで予定通り、除草・清掃・および第2公園花壇へ苗の植え付け作業を行うことができました。ご参加・ご協力くださった皆様へ、改めてお礼申し上げます。

今年植えたい苗は、例年通りおこなわれている「1000苗」事業に参画した上で、苗の2分の1の価格(種は無料)で購入しました。この事業は、苗の採りに協力できる団体に限り、年2回、花の種や苗を無償で配布するものですので、今後も暑と別に、申し込んだ苗などが届きます。今回はパンジーの予定ですが、ご希望の種苗がございましたらお知らせください。申し込みの際に参考にさせていただきます。

現在は「1000苗」の申し込みフォームをホームページに掲載しております。これから大きく成長していく姿をお楽しみください。



◎用具の購入を進めています◎

公園清掃の維持管理をしやすいために、愛護会の予算で様々な用具類を購入していますが、先出、第2公園に参画式のホース(20メートル)と浮輪コブを購入いたしました。

これまで長い少ない時期に、篠島氏(第4地区理事)が自宅のホースで放水してくださっていましたが、一昨年の猛暑のせいで、ホースの一部が壊れてしまいました。今年度は花壇の手入れも考えれば水やりの必要が生じますので、今後第3公園にも20メートルのホースを購入して、手軽に放水出来るようにしたい

と思います。そこで、ホースが出口につなげるための器具を公園の水道の出口に取り付けますので、ご賛同のお願いをいたしました。はずしたりいたしませんよう、特にお子様にはご注意ください。

また予算がなくなり、お弁当の準備や、検水用バケツなどを購入したいと考えていますが、その他にも必要と思われるものがございましたら、小さなものでも結構ですのでご連絡ください。

◎今年の夏はちょっと静か？◎

皆様ご存知のように、上大塚第2公園はこの春、大改修工事を無事に終え、4月から新しい公園の中央に堂々とそびえ立っていた大きなメセコイアの木を、3本とも切ってしまうことは毎年計画を過ぎると、夕方から夜にかけて、木の影にせもの幼虫が舞って羽化して夏の間は、成虫になったメセコイアがあららで鳴きながら、メスならめ好む心の強い子供たちを夢中にさせていました。今回の工事によって木が倒れ落ち、より静かな大木が無くなったのも影響がでるのではないかと心配しています。

・・・でも、暑い夏、早寝をしたいと思っていられずにいる方には、うるさいせいの音が少しかわらないで、暑い日がいかに静かにならず

◎ペットのフンを置いていかないで！◎

第3公園では、ペットのフンを持ち帰らずに上に砂をかけてすましてしまう人がいるため、芝生の上がお写真の様にこの山だらけの様相で荒れています。「砂をかけてしまえば土に染り、問題ない」と思われる方もいらっしゃるようですが、フンの臭がなくなるまでには長い時間がかかります。そしてその間に公園を利用する方々に不快な迷惑をかけてしまいます。



◆フンをその袋に入れておくと◆



大変不衛生(きたない)です！ フンは必ず持ち帰ってください

◎ゴミの無いきれいな公園に！◎

昨年から公園のゴミ箱を撤廃しました。これは、カラスがエサをあさったり、風に飛ばされたりして数からゴミの状況があまりひどく、根本的な解決のためには、公園を利用する方たちに各自のゴミを持ち帰っていただく他はないと考えたからです。おかげさまで、以前より数からゴミの量は減少しました。また、目的のうちかなりの減少したにもかかわらず、この量はあまり減少しませんでした。ご協力ありがとうございました。まだ不潔な点はございますが、ほらがらほらよ、お帰ってまたきれいな公園にしましょうと願っております。

また、毎月の公園清掃は、第4地区と第6地区の皆様ボランティアにより行われております。(いつもありがとうございます)公園をご利用の際は、どうかゴミは各自お持ち帰りをお願いします。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



お問い合わせ・ご連絡は

又は各地区理事へお願いいたします。

「公園愛護会だより」
第一号

3 新しく公園愛護会を結成するときの事例

新しく公園愛護会を結成するときや、年度が替わって愛護会のメンバーが代わったときなど、清掃や除草といった活動に加えて、何かひとつ「面白そうだな」「やってみたいな」という活動を加えると、公園愛護会の活動が元気になるといった効果があるようです。

☆新しく公園愛護会を結成するときなどのポイント

活動を始めるとき、定例的な活動日や、イベントなどの日程を決めた簡単な「年間活動計画」を作ると、活動の事前PRや会員の中での仕事の分担などがやりやすくなります。

※先にお配りした公園愛護会マニュアルのうち
【3章 公園愛護会とは】
【5章公園愛護会の活動（3）発展的な活動】
をご参照ください



報告者：岡本
報告日：06年3月

吉浜町公園愛護会 吉浜町公園

(中区吉浜町 2-19、街区公園、3,066 m²)

新規結成の事例

結成に至る背景

■昭和 54 年に開園となった公園で、愛護会結成まで 26 年の歳月がかかった。その間、ブルーシートテントや廃車に居住しているホームレスがいたりしたことがあり、中部公園緑地事務所で対応を行うこともあった。

■当時の管理は、市による年 2 回の草刈と、数年に 1 回の剪定を行っていたが、さらに頻度を上げた、きめ細かな手入れを行うのは難しい状況であった。

■8 年前から近くのことぶき共同診療所のスタッフとデイケアスタッフが、治療活動の一環として、公園の一部で土作りや草花の植付け、水やりなどの活動を行うようになった。

結成までの経緯

■ホームレスの問題や不法占拠物件、野良猫のえさやりなどについての相談があったことや、地域の診療所が熱心に花壇づくりを行っていたことから、平成 15 年に中部緑地事務所より連合町内会役員に対して働きかけを行った。その後、地域で検討され、平成 17 年 5 月に愛護会が結成された。

■愛護会メンバーは、地元の住民および診療所スタッフで、約 25 名で活動をしている。

現在の状況

- ・公園での活動は週に 2、3 日で清掃、花作りを行っている。
- ・最近ではメダカの池も作られた。
- ・ことぶき診療所の運動会が公園で開催されている。
- ・愛護会結成後はゴミもほとんどなく、子供達や、散歩しながら花を見に来る人たち、お弁当を食べに来るサラリーマンなど、多様な利用が見られるようになった。
- ・近日中に「花壇づくり」の技術支援を行う予定。

報告者：岡本
報告日：06年3月



ゴミはほとんど落ちていない。以前とは比較にならないほどきれいな公園になった

手作りの花壇



愛護会で作成した花壇の配置図

手作りのメダカ池
周りの柵は土木事務所で設置



報告者：岡本
報告日：06年3月

井土ヶ谷中町公園愛護会 井土ヶ谷中町公園

(南区井土ヶ谷中町 146-10、街区公園、776 m²)

新規結成の事例

結成に至る背景

- 大島鉄工所跡地に建設されたマンションの提供公園である。
- 親子連れで毎日賑わっている砂場は、近くに住む人がきれいに管理しており、砂場で使うおもちゃを入れる箱も愛護会で用意している。
- 地域でも近くに公園が出来たということで、自分達で育てていきたいという思いがあった。

結成までの経緯

- 自治会長から相談を受けた自治会婦人部から、中部公園緑地事務所に相談があり、公園愛護会の説明を行ったところ愛護会が結成された。
- 公園公開 平成 15 年 12 月 愛護会結成 平成 16 年 7 月
愛護会メンバーは 10 名ほど。

現在の状況

- 清掃日等の連絡は、主に愛護会掲示板を介して行っている。
- 花壇づくりにも力を入れており、土木事務所から花の種の提供を受け、スイトピーなどを育てている。
- サツキやツツジなどの低木は、子供達に踏まれることがあるので、手作りの注意札を掲示している。
- 親子連れで毎日賑わっている砂場は、近くに住む人がきれいに手入れしてくれており、砂場で使うおもちゃを入れる箱も愛護会で用意している。
- お祭りや防災訓練などが自治会の主催で行われており、地域の活性化に努めている。

報告者：岡本
報告日：06年3月



清掃活動の様子



きれいに維持されている砂場。砂場の奥に見える赤い箱が、愛護会で用意した
「おもちゃいれ」

報告者：川島
報告日：06年2月

栗木花園緑地愛護会 栗木花園緑地

(磯子区栗木一丁目12、都市緑地、326㎡)

新規結成の事例

結成に至る背景

■元は団地が造成された際の残土捨て場（民間デベロッパーの所有地）であり、雑草が生い茂り、不法投棄も多い荒地であった。その土地を自治会が花壇にしようと地元に住む専門家（緑化センターに勤めていた）に指導を依頼し、自治会役員や近隣の協力をいただき開墾した。

その後、専門的な花壇にしたいとの思いから、市に土地を無償で寄付し、管理は自治会が行うと申し入れ、平成10年に都市緑地として整備された。

結成までの経緯

■緑地整備後の2年間は、専門家を中心に数人で土作りに追われた。

「地元の役に立てれば」と美しい花壇作りに労を惜しまず、毎日世話を欠かさない専門家の姿を見て、当時の自治会長が心を動かされ、自治会として積極的に協力していこうと愛護会結成を提案した。

現在では、自治会の環境衛生部門として協力を得ている。愛護会は平成15年に結成届けを提出。

現在の状況

■現在メンバーは25名（3班に分かれて当番制で活動）、年間スケジュールを作り、テーマに沿った花壇づくりが行われている。咲き終わった花は、ラベンダースティックを作ったり、押し花に作ったりして、捨てることなく楽しんでいる。また、多くのメンバーが、自宅でタネから花苗を栽培している。

■この緑地を中心として、花の交換会や講習会といったイベントを介して、個人宅をも含めた地域の緑化運動の広がりも見られる。また、自治会の回覧板により、メンバーの募集や年間作業スケジュール、花の見頃情報といった情報が地域住民に周知されている。

■今では「いつもきれいな花壇がある」という評判の散歩コースになっている。

■花の見頃情報（平成18年の例）

4月：サクラ、チューリップ、ムスカリ、パンジー 5月：モッコウバラ、バラ
6、7、8月：ベゴニア、ペチュニア、ポーラチュカ、マリーゴールド、アガパンサス、ラベンダー、ジニア、ブルーサルビア

9月：バラ、ヒガンバナ、アブチロン 11月：キク 2月：ウメ

■受賞歴など

横浜市緑の協会より「花・緑のみどころ」として紹介される。

平成12年緑の協会主催街並みコンテスト「街並みコンクール賞」受賞

平成17年よこはま花と緑の春フェア「ちっちゃい花壇」出展

報告者：川島
報告日：06年2月



専門家の指導のもと、愛護会の皆さんで花植え。



四季折々 美しい花を咲かせている。



報告者：川島
報告日：06年3月6日

田中町第一公園愛護会 田中町第一公園

(磯子区田中町 1-14、街区公園、944 m²)

新規結成の事例

結成に至る背景

■田中町第一公園は平成元年に開園となったが、その後 15 年間愛護会は結成されなかった。この間、公園緑地事務所の愛護会担当職員が 2 度にわたり働きかけを行ったが、港南区との境にあること、自治会のはずれにあることなどから、なかなか結成にまでは至らなかった。

■公園も手入れされないままとなっており、地域住民も近くの立野第一公園（港南区）を利用していた。

結成までの経緯

■現会長の奥様から、「公園が汚れていて利用者も少なくなっているので、公園をきれいにするため、清掃や花植えをしてもよいか？」という相談があった。

■この相談を受けて、愛護会結成についての説明に担当職員が伺ったところ、「自宅近くの公園なので、自治会とは関係なく、近所の仲間と花壇づくりなどをしてい」ということで、愛護会が発足した。発足当時は会員 2 名。

現在の状況

■現在は 4~5 名で清掃活動などを行っている。多い時は毎日、少ない時でも週に一度は清掃を行う。

■殺風景だった公園が、地元数名の「近所の庭である公園を、何とか美しく潤いのある公園にしたい」という熱意によって、活気や潤いのある公園へと変身した。

■公園内や公園周辺の土手には、パンジーなど四季折々の花が植えられ、道行く人や近所の人たちの目を楽しませている。花壇には手作り看板も。

平成 17 年には堆肥置き場づくりの技術支援を受け、堆肥づくりにも取り組んでいる。

報告者：川島
報告日：06年3月6日



花壇には手作り看板や人形が置かれている



報告者：川島
報告日：05年12月8日

能見台中央公園愛護会 能見台中央公園

(金沢区能見台三丁目 50-1、近隣公園、28,865 m²)

新規結成の事例

結成に至る背景

■能見台中央公園は新興住宅地の中にある公園である。以前は、南部公園緑地事務所が管理を行っていた。しかし、管理の内容は、年二回の草刈と剪定などで、手入れが行き届いているという状態ではなかった。そのため、ゴミの投げ捨てが多く、冬には焚火、夏には花火が枯れ草に燃え移り、消防署が出動することも何度かあった。春から夏にかけては痴漢が出没することもあった。

結成までの経緯

■公園の隣に住む女性（後に初代愛護会長となる）が、「四季の移り変わりを眺め、借景の恩恵にあずかっている者として、何かできるのではないか？」と思い、平成5年頃から、本来花壇であったと思われる場所の草取りをし、ハーブを植えるといった行動を始めた。

その姿を見て、お手伝いを申し出た人が5～6人となり、当時の町内会長と相談の上、能見台中央公園愛護会グループ「ミモザ」が発足した。

現在の状況

■現在では、花壇づくりや園内の美化活動（いつも誰かが見回りをしているので、大きな公園ではあるがゴミがほとんど落ちていない）のほか、堆肥づくりや小学校との協働による落ち葉大清掃、樹名板の取り付け、花壇で咲いた花や木の実などで作ったフラワーアレンジメントのプレゼント（町内のボランティア組織「ふれあい安心会」との協働で、高齢者や一人暮らしの方にプレゼントしている）、公園でのバザーによる収益などにより、この公園にマッチしたログハウス風の愛護会倉庫や花苗の購入も行っている。また、カラフルな愛護会報「ミモザ便り」の発行（月1回）などを行い、ミモザの活動をPRしている。

報告者：川島
報告日：05年12月8日



四季を通して花壇には
花が咲いている。

堆肥置き場には手作りの
パウチ看板が。



愛護会看板。
後に見えるのが愛護会で
自費購入したログハウス
風の倉庫。

今では、小学校との協働で、
落ち葉かきや樹名板づくり
などが行われている。



報告者：川島
報告日：06年3月12日

八景西公園愛護会 八景西公園

(金沢区大川7、街区公園、9,003 m²)

新規結成の事例

結成に至る背景

■八景西公園は横浜市大の裏にあった東洋テルミーの跡地に建設されたシティタウンの提供公園である。最終1805戸にもなる高級マンション群での愛護会設立は難かしいと思われ、しかも管理組合は棟ごとに組織されていたので、どこに働きかけを行ったらよいのか、ということすら分からない状態であった。

結成までの経緯

■そのような折、シティタウンの管理会社より、愛護会について勉強したい、という申し出があり、南部公園緑地事務所の担当者が説明に伺った。

何度か説明に伺った後、管理会社から、各棟の管理組合やそれらを統括する連合管理組合（自治会に相当する組織）に説明をして頂き、「このきれいな公園を自分達で守っていくという公園愛護会に関心のある有志の方」を募ったところ、何人かの方が手を挙げて、開園から5ヶ月で愛護会結成となった。

現在の状況

■「意識が希薄になりがちな大規模シティタウンの住民の方々に、関心を持ってもらうためには…」と、愛護会結成とほぼ同時に「活動中看板」を希望され、また、花壇づくりの講習も受け、公園入口付近にあるガゼボ周辺にきれいな花壇を作った。

■広い花壇なので花もたくさん必要なため、自分達でタネから花を育てている。

■公園の清掃や水やり、花植えなどは愛護会メンバーが月5～10回行っているほか、毎日、会員および有志の住民が見回りやゴミ拾いを行っている。

■毎月第一土曜日は大清掃の日としており、棟ごとの持ち回りで大清掃を行っている。各戸に整備されている電子掲示板で呼びかけが行われ、150名ほどが参加する。

■愛護会の活動により公園はきれいに保たれており、昼間は毎日100人くらいの子供達で賑わっている。

■自治会が主体となり、公園を利用した様々なイベントを行っている。

・夏祭り：1000名以上が参加。屋台が多数出るほか、シティタウンのサークル（和太鼓、フラメンコなど）の発表会も開催される。

・防災訓練：はしご車も出動する本格的な防災訓練

・子育て支援：子供会とタイアップして、公園での遊びを通して子育て支援を行っている。

・クリスマスのイルミネーション など

報告者：川島
報告日：06年3月12日



公園の様子。エキゾチックな
雰囲気の中たくさんの子供
が遊ぶ。

ガゼボ周りの花壇。
一年を通じて花が咲いている。



メンバーがタネから花苗を育
てている。水やりはほぼ毎日。



盛大な夏祭り



クリスマスのイルミネーション

4 新しい公園愛護会制度を活用した事例

花壇作りの支援

花壇を作り、愛護会を中心とした地域の皆さんで手入れをすると、公園が明るくはなやいだ場所になるのはもちろん、

○公園愛護会を知らない人たちに公園愛護会のPRをすることができる。

○花壇を通じて、別の公園愛護会とも交流することができる。

といった効果が期待できます。

☆公園で花壇を作るときのポイント

公園の花壇は「まちの花壇」「まちの皆さんに見せるための花壇」です。

花の見ごろをPRしたり、たくさんの方が活動に参加できるような工夫が重要です。

※先にお配りした公園愛護会マニュアルのうち
【10章 花壇づくりについて】
をご参照ください



馬場第一公園愛護会 馬場第一公園

(鶴見区馬場5-5、街区公園、1,885 m²)

新制度支援：花壇づくり、刈払機講習

抱えていた課題

参加者不足、高齢化

支援をうけた動機

- ①公園をより美しく、また地域の人に楽しんでもらうため、公園入口に花壇が欲しいと考えていたところ、平成16年に北部公園緑地事務所より花壇づくりの話があり、平成17年3月に完成した。
- ②当愛護会は、これまで自前の刈払機で公園の草刈りを定期的に行っていたが、新しい愛護会制度の中で安全性の高い刈払機があることを知り、安全講習を受け、新しい刈払機を利用している。

花壇づくり

具体的な内容

花壇完成後の4月8日、第一回目の花植えを鶴見土木事務所と一緒に実施。その後6月8日、12月4日と花植えを実施し、写真を愛護会掲示板に掲げ、PRした。

支援の効果

待望の花壇が出来、全員参加で最初の花植えを実施。想像以上の出来映えで、全員感激、今後立派に管理して行こうと決意した。

第三回目の花植えでは、花の配置図を書き、区画割付した上で植付けした。自分達で計画・実行出来て満足している。

花壇づくりを始めて愛護会活動の楽しみが広がった。また、近くの幼稚園児や公園を利用する皆さんにも楽しんでもらっている。

刈払機講習

具体的な内容

6月8日技術支援の一つである刈払機の安全講習を受講、以降、刈払機の貸出を受け定期的に草刈りを実施している。

支援の効果

7月5日、9月4日、11月6日と刈払機を借りて草刈りを実施。スッキリとした公園になった。

今後の展開

当愛護会も高齢化が進んでおり、若い世代も愛護会活動に積極的に参加してもらえるような、より一層楽しい公園づくりを目指したい。

報告者：谷川
報告日：06年2月10日

4月8日第一
回目の花植え
実施時の様子。



6月8日刈払機の安全
講習受講時の様子。

12月4日第三回
目の花植え実施時
の様子。



神奈川通公園愛護会 神奈川通公園

(神奈川県新町8-1、街区公園、1,933㎡)

新制度支援：腕章の提供

抱えていた課題

利用者のマナー、公園での不審者の出没

腕章の提供

具体的な内容

- ・ 公園のルールブックを公園を利用するお母さんたちに配布
- ・ 防犯パトロールの腕章をつけてパトロール
- ・ 花や球根を愛護会の人たちと土木地味所の職員と一緒に植える

支援の効果

- ・ 神奈川小学校との連携防犯が始まった
- ・ パトロールのおまわりさんと親しくなり、必ず公園に立ち寄ってくれるようになり、お互いに地域の情報を交換している
- ・ 花壇に水遣りをするために、朝、夕公園に立ち寄るようになった

今後の展開

■防犯パトロールを始めて、公園に不審者がこなくなった。又、公園も、4月に新しくなり、花壇スペースも要望通り広がる事になり、健康遊具の設置も決まった。

■今以上に、公園にいる時間が増えるので、防犯パトロールも、楽しみながら、継続していきたい。

報告者：浅石
報告日：06年2月13日

パトロール中の警察官に今日の様子を報告している防犯キャップをかぶった愛護会メンバー。



球根を配置し、
どんな風に咲かせようか思案中。

多年草などを残し、
球根を植え付ける。



宮ヶ谷第二公園愛護会 宮ヶ谷第二公園

(西区宮ヶ谷54-32、街区公園、272㎡)

新制度支援：花壇づくり

抱えていた課題

- 参加者不足、利用者のマナー、地域の理解不足

支援をうけた動機

■自治会が担当している他の公園で毎年行われている花植えが好評で、当公園でもキレイな公園にしたいという要望があり、子供たちの参加を促す狙いから支援をうけた。

花壇づくり

具体的な内容

■2005年12月、公園の片隅の植栽地を利用し花壇づくりを実施。愛護会、子供会をあわせて、20名以上が参加した。腐葉土、培養土、花苗、進入防止フェンスなどを、あらかじめ土木事務所で準備し、保育園から戻る子供たちの時間に合わせて、花壇づくりを開始した。まずは土の掘り起こしから始め、花苗の配色や植え方の説明を受けて、子供会のお母さんや子供たち中心に楽しそうに花植えが行われ、最後に花苗に水やりをして終了した。

支援の効果

- ★子供会が公園を愛護する意識が高まってきた。
- ★子供会が当番制で水やりをはじめた。
- ★利用者が増えた。

今後の展開

■子供会を中心にして周辺居住者の公園愛護会への関心が高まるよう更に地域（自治会など）の組織的な参加を推進したい。また、公園で遊ぶ子供たちの安全確保、ゴミを捨てられない公園など利用者のマナー意識を高めていきたいとのこと。

報告者：遠藤
報告日：06年2月13日

花苗の配色や植え方の説明の様子。



待望の花苗の
植え付け。
皆さん楽しそ
うでした。

子供たちも頑張
りました。



山元町五丁目公園愛護会 山元町五丁目公園

(中区山元町五丁目 208-1、街区公園、969 m²)

新制度支援：花壇づくり

抱えていた課題

- 高齢化、利用者のマナー、地域の理解不足

支援をうけた動機

■植栽があるが、時々引き抜かれ、捨てられるいたずらがあった。少しでも公園に親しみを持ち、公園に愛着を持って欲しいと思った。

花壇づくり

具体的な内容

■面積は1m×3m。植栽の部分の土を掘り起こし、石ころを取り除き、黒土、腐葉土を入れて土作りから始めた。

周りに丸太を敷き、犬などが入らないようにフェンスを設置。花苗は土木事務所が会長と相談した上で季節のものを選び、業者に公園まで配達してもらった。

■ゴールドクレスト、ゼラニウム、ノースポール、葉牡丹、ジュリアナ・ポリアンサ等。

支援の効果

■最初は水やりが大変だ、と思っていたが、公園の近くの会員が水やりをしてくれている。水道が近いので助かっている。木だけの公園に、色とりどりの花が咲き、とても公園が華やかになり、公園に来て和むような気がする。

■道路沿いにあるので、花を抜かれるなどのいたずらがあるかと心配していた。1～2回引き抜かれたことがあったが、それ以後いたずらはなく、砂場に来ている子供たちも眺めているようだ。

今後の展開

■ここの花を絶やすことのないよう、いつも花のある公園にしたい。

植栽のあった所を掘り起こし、石ころや、ガラスを取り除き、土を均しているところ。



購入した黒土と腐葉土を入れて、土作りをしているところ。

花にも表、裏があり、ポットから出して植える時の説明を聞いているところ。



花壇作りをした会員の皆様。

別所第一公園愛護会 別所第一公園

(南区別所中里台31、街区公園、2,459㎡)

新制度支援：花壇づくり、腕章・活動中看板の提供、刈払機講習

抱えていた課題

- 利用者のマナー、地域の理解不足

支援をうけた動機

- 近くの別所中里台公園の活動が活発（堆肥置き場、樹名板づくり、花壇づくりを実施）で刺激をうけた。
近くの小学校から、トイレをきれいしたいとの要望をうけ、公園全体をきれいにする計画が出た。

花壇づくり

具体的な内容

- 南土木事務所から提供した花壇の枠の材料（松材）、土、堆肥、花苗を使って、愛護会メンバーで花壇づくりに取り組んだ。
また、他公園で伐採した丸太を使って、椅子の製作も行った。

支援の効果

- いろいろな方から声をかけてもらう事が多くなり、公園がにぎやかで明るくなった。
- 愛護会だけでなく町内会も一緒に活動するようになった。
- 今まで公園には花が少なかったが、花壇ができて子供が興味をもって集まるようになった。

今後の展開

- 花壇だけでなく、プランターで花をもっと植え、公園を花いっぱいにして考えている。
- 堆肥置き場づくりを予定している。

報告者：伊藤
報告日：06年2月10日

トイレの壁画は小学生の
手作り。
「トイレの中もきれいだ
よ。みんな見に来て！」



六ッ川三丁目公園で
伐採した丸太とハマ
レンガを提供。椅子
を手作りした。

花壇の枠を提供。自分達
で製作した。
「春になったらいっば
い花が咲きますよ！」



杉山原公園愛護会 杉山原公園

(緑区長津田四丁目 1975-10、街区公園、2,320 m²)

新制度支援：花壇づくり

抱えていた課題

- 利用者のマナー

支援をうけた動機

■良い制度と思い新制度を選択した。また、以前から花壇づくりは行っていたが、公園を美しくしたいという会員の強い要望があったため支援を受けた。

花壇づくり

具体的な内容

■有志のメンバーの持ち寄りで行っていた花壇づくりが、支援を受けることで活発な花壇づくりに発展している。

支援の効果

■道路沿いに、手作りの花壇を行っていて、道行く人たちの目を楽しませている。「きれいですね」「よく咲いていますね」と声をかけてくれる人も増え、励みになる。咲いた花を盗まれることや引き抜かれることが心配。

今後の展開

■清掃活動を中心に、同好の方々によって花壇の手入れを積極的に取り組む。

■隣接する4自治会（愛護会はこの4自治会で結成している）のイベントなどで公園の有効活用を行う。

老人会・子供会も交えた交流の場としての活用も検討している。

報告者：桑原
報告日：06年2月13日



下田町四丁目公園愛護会 下田町四丁目公園

(港北区下田町 4-1、街区公園、4,097 m²)

Aコース支援：花壇づくり、刈払機講習

抱えていた課題

利用者のマナー

支援を受けた動機

季節の花々が伸び伸びと育っている公園には華やかさがあり、手入れの行き届いた花壇があることで利用者の悪いマナーやイタズラに悩むことも少なくなる。このような花壇があることでコミュニケーションが広がり、憩いの場となる事を願いAコースの花壇作りを希望した。

花壇づくり

具体的な内容

公園入口からの見通しの良い場所に花壇をつくる。支援班が花壇の木枠をつくり、苗床を耕して黒土を入れる。参加者は支援班から植え方を教わり、ノースポール、パンジー、ピオラ、チューリップを植え付ける。

支援の効果

植え付けを行っている時、下校途中の下田小学校児童が興味を示し、急遽、花植えの仲間入り。「これこそが地域の活性化」と愛護会長も喜んでいました。

水遣り当番を決め、花の成長を楽しんでいる。

堆肥置き場づくり

具体的な内容

支援班の指導のもと、小さな子供も参加し、堆肥置き場づくりを行った。

支援の効果

樹木が多く、枯葉の処理が大変だったが、堆肥置き場が出来たことで、公園清掃の際に、枯葉の始末で悩むことが少なくなった。

今後の展開に期待する声

花壇を造ったことで、地域の皆さんの公園に関する興味が増した。
花や植物に関するわかりやすい解説がほしいことと、花植え後の水やりや堆肥に
関する注意などの管理講習をお願いしたい。
広場の周りに花をいっぱい植えたいですね。



飛び入り参加した子供達も楽しそうに花を植えている。



堆肥置き場づくり様子。
子供が参加することで、作業がいっそう楽しいものとなる。

4 新しい公園愛護会制度を活用した事例

堆肥置き場作りの支援

公園に落ち葉を堆肥にする施設を作るのをお手伝いします。

落ち葉を集めて袋に入れてゴミ捨て場まで運ぶ手間が減るのはもちろんですが、

○焼き芋大会などの行事とあわせ、たくさんの方が落ち葉清掃に参加しやすくなる

○堆肥を花壇に使うなど、地域でのごみのリサイクルが実現できる

といった効果が期待できます。

☆堆肥置き場づくりのポイント

堆肥置き場は設置する場所が重要です。イタズラなどがされにくいけれど人の目が届くところというのが理想的です。

※先にお配りした公園愛護会マニュアル のうち
【5章 (2) 基本的な活動】
をご参照ください



蒔田公園愛護会 蒔田公園

(南区宿町 1-1、近隣公園、23,243 m²)

新制度支援：堆肥置き場づくり、花壇づくり、

抱えていた課題

- ゴミ問題、利用者のマナー、自転車の駐輪

活動の内容

■園路に面した花壇において、花苗の植付けや水やりなど、分担を決めて行っている。また、園内の落ち葉を集めて、堆肥づくりに励んでいる。

支援の効果

- 町内会や子供会に呼びかけ、花壇の手入れを行うようになった。
- 公園が広いので、定期的に自治会が園内のゴミ拾いなどの清掃を行っており、利用者に対するマナー向上の呼びかけも行っている。
- 近くの福祉施設（薬物からの更生を支援するNPO）も清掃に協力している。
- 花壇も増えたので、愛護会と土木事務所の呼びかけで、「花壇ボランティア」の募集も始めた。
- 堆肥置き場を作ったことで、今まではゴミになっていた落ち葉を、堆肥として有効利用ができるようになった。

今後の展開

- 花壇に宿根草やハーブなども植えたい。
- 土木事務所とも連携して「花壇ボランティア」を増やしていきたい。
- 犬のフンを放置する利用者もまだ多い。マナー向上の呼びかけをしていきたい。
- 自転車の駐輪、不法投棄については、以前一台ずつ注意札を取り付けたことで、一時期よりは減ったが（約40台が数台に）、今後も注意していき、きれいな公園にしたい。



花植えの様子
数種類の草花を、配置を考えながら植えていく。花壇が数箇所あるため水やり等の日常管理は分担を決めて行っている。



堆肥置き場づくり
焼き板にブラシをかけて表面を磨く。その後、杭打ちをする。

自分達でもボルトを締めるなどの作業をして完成した堆肥置き場。堆肥ができるのが楽しみ。



常盤台南公園愛護会 常盤台南公園

(保土ヶ谷区常盤台8、街区公園、1,206㎡)

新制度支援：堆肥置き場づくり、中低木の管理講習

抱えていた課題

高齢化、利用者のマナー

支援をうけた動機

散らかっている落ち葉をなんとか活用したかった。
もともと低木類の剪定を行っていたが、正しい方法を知りたかった。

堆肥置き場づくり

具体的な内容

メンバーに声をかけ参加を呼びかける。

公園清掃の後、落葉を堆肥置き場に入れ、熟成を待っている。

支援の効果

出来た堆肥を近隣の植物愛好家に分けられる。

中低木の管理講習

具体的な内容

春以降に、実際に愛護会で中低木の管理を実施してゆく。

支援の効果

今までより形の良い樹形が期待できる。

今後の展開

堆肥ができるのが楽しみ。もともと花好きの会長、メンバーなので、公園の美化に努め、利用者が気持ちよく公園を使える環境を整えたい。また、来年度は花壇作りに取り組みたい。

報告者：大越
報告日：06年2月7日

会長・メンバーはご年配の方が多いですが、力仕事を含め、一所懸命に取り組んでいました。



十日市場西公園愛護会 十日市場西公園

(緑区十日市場町 1501-68、街区公園、5,363 m²)

新制度支援：花壇づくり、堆肥置き場づくり、掲示板の設置

抱えていた課題

■参加者不足、利用者のマナー

支援をうけた動機

■清掃用具の購入のわずらわしさが無くなることを期待した。また、その他の支援を受け、愛護会活動を活性化したいため支援をうけた。

花壇づくり

具体的な内容

2年前から花壇づくりを始めたが、新制度を選択したことで、花苗の提供をうけた。

支援の効果

愛護会員にやる気が出てきた。

花壇を始めた当初は、数人の参加者しかいなかったが、花苗の支援を受け、参加者を募集したら参加者が倍に増えた。

堆肥置き場づくり

具体的な内容

花壇づくりの参加者から、自前で花壇の土壌改良や肥料作りをしたいという提案があり、堆肥置き場づくりを行った。

支援の効果

堆肥置き場づくりをすることで、会員がより一体化した。近くの公園からも落ち葉を持ってきかれて、周辺の公園との共同作業を進めている。

掲示板の設置

具体的な内容

最近、公園周辺にマンションが増えた。開発公社の住宅も建設予定。掲示板を活用して、愛護会をより多くの人に知ってもらいたい。なお、掲示板を使って、参加者も募集していく。

支援の効果

まだ効果は出ていないが、愛護会活動をより多くの周辺住民に知ってもらえるように有効活用をしたい。

今後の展開

花壇づくりをより活発化して、花の公園にしたい。斜面地には、芝桜なども増やしていきたい。

斜面の花壇



花壇の中の看板

堆肥置き場が完成！



堆肥置き場にたくさんの
落ち葉が集まる。

あざみ野4丁目南公園愛護会 あざみ野4丁目南公園

(青葉区あざみ野4丁目5-4、街区公園、4,884㎡)

新制度支援：堆肥置き場づくり

抱えていた課題

参加者不足、高齢化

支援をうけた動機

1. 資源循環局での落葉処理量を、減らしたい。
2. メンバーの高齢化が進んでいるので、作業を少しでも軽減したい。
3. 堆肥をつくって肥料などとして、活用したい。

堆肥置き場づくり

具体的な内容

堆肥置き場づくりに参加。
同時に、愛護会コーディネーターの研修の場として提供した。

支援の効果

枯葉のゴミとしては、1袋も出さずにすんだ。
枯葉とはゆえ、年寄りには運ぶのが大変。そこで土嚢袋を何枚か縫い合わせて丈夫な袋を作って2人で運べるようにした。このような改善が皆の連帯感を育てると思う。

今後の展開

1. もう少し、サイズが大きくてもよかったので、堆肥置き場の追加を検討中。
2. 堆肥置き場の中でカブト虫が育っているかもしれない。育っていれば、夏には子供達の歓声が期待できる。

報告者：山下
報告日：06年2月8日



↑
堆肥置き場を皆さんと一緒に
なつて製作中。

堆肥置き場の完成品！
なかなか良い出来ば
え。



枯葉でいっぱい！ ↓



この袋で、枯葉が一度に大量に
運べます。

4 新しい公園愛護会制度を活用した事例

刈払機の貸出と安全講習

これまで、刈払機を使用して、公園の草刈などを行っていた愛護会などを主な対象に、より安全性の高い草刈機の貸し出しと安全講習をセットにして行っています。

☆刈払い機の貸し出しと安全講習のポイント

公園は大人から子どもまで、不特定多数の利用者がやってくる場所です。

「刈払機はもう使い慣れているよ」という場合でも、他の人の安全を守る、という意味で必ず安全講習を受講するようお願いいたします。

※先にお配りした公園愛護会マニュアル のうち
【5章 (2) 基本的な活動】
をご参照ください



瀬谷駅北口公園愛護会 瀬谷駅北口公園

(瀬谷区中央 13-11、街区公園、3,000 m²)

新制度支援：刈払機講習、掲示板の設置、中低木の剪定講習、
腕章の提供

抱えていた課題

高齢化、利用者のマナー

支援をうけた動機

新制度による物品支援を希望した。

刈払機講習

具体的な内容

2005年11月5日(土)愛護会を中心に、整備班の指導のもと刈払機講習が行われた。

支援の効果

これまでは持っていた道具が古くなり、使いにくかった。
切れ味の良い道具を使うことで活動が楽しくなった。

掲示板の設置

具体的な内容

整備班手づくりの掲示板を設置し、愛護会通信・愛護会メンバーの募集チラシを掲示。

支援の効果

掲示板を使って、公園清掃の日時などの情報提供を行うと同時に、新規メンバーの募集も行っている。

中低木の剪定講習

具体的な内容

中低木を腰の高さまで刈り込んだ。

今後の展開

利用者(公園で遊ぶ人)と愛護会(利用者は愛護会が掃除をすることは当たり前前という意識をもっている)との隔たりが有るのでその差(認識不足)を無くし地域と協働し連帯感がもてるようにしたい。

報告者：井上
報告日：06年2月7日



刈払機講習スタート！

重いと思った刈払機が案外軽かったとの事で、女性の方でも上手に使いこなすことができた。



集合写真。

整備班手作りの掲示板を有効に活用して、清掃ボランティアの募集を行っている。



善部町南公園愛護会 善部町南公園

(旭区善部町 114-8、近隣公園、13,124 m²)

新制度支援：刈払機講習、堆肥置き場づくり、樹名板づくり

抱えていた課題

参加者不足、高齢化、地域の理解不足

支援をうけた動機

以前は、地区の老人会「みどり会」が公園愛護会を兼ねて日常清掃などの活動を行っていたが、公園が広いこと、および参加者が高齢化していることから活動が困難となり、愛護会返上案も浮上。しかし、H16年度老人会会長が再スタート切り、愛護会の活性化の一つとして新制度支援を受けた。

刈払機講習

具体的な内容

9/15 実施。
愛護会 6 名参加。

支援の効果

従来の老人会のみでなく、地元自治会にも声をかけ、愛護会の活性化に努めていた。

堆肥置き場づくり

具体的な内容

11/16 実施。
愛護会 8 名参加。

支援の効果

12月には落ち葉で満杯になり、そこへ散水した上で攪拌し、十分に踏み固め、表面に土をかぶせて堆肥の仕込みを行った。堆肥が出来上がるのを楽しみにしている。

樹名板づくり

具体的な内容

9/22 実施。愛護会 4 名・土木事務所 3 名で約 60 本の樹名を特定した。設置は自治会・愛護会で実施。

支援の効果

以前から少しずつ自治会長によって進めていたが、現在は自治会・愛護会で樹名板がつけられている。

今後の展開

“愛護会”を固めていく為の一つの材料として支援の活用を考えており、次は「中低木の管理講習」を計画中。(愛護会長談)

刈払機講習の様子



取り付けられた樹名板

堆肥置き場（落ち葉だめ）



4 新しい公園愛護会制度を活用した事例

樹名板づくりと取り付け

公園の樹木の名前を調べ、樹木の名前を書くための板、ペンキ、取り付けるためのひもなどを提供する取り組みです。

小学校などと連携して活動を行うときのきっかけ作りなどに効果的です。

☆樹名板作りと取り付けのポイント

子どもたちと一緒に樹名板の取り付けを行うとき、活動の最初に「樹木のはたらき」であるとか「葉っぱの仕組み」といった話をしてから行くと、よりいっその興味をもって活動に取り組んでくれるようになります。

※先にお配りした公園愛護会マニュアル のうち
【5章 (3) 発展的な活動】
をご参照ください



仏向矢シ塚公園愛護会 仏向矢シ塚公園

(保土ヶ谷区仏向町 614-2、近隣公園、24,997 m²)

新制度支援：樹名板づくり

支援をうけた動機

樹木が多い公園で利用者に樹木の名前を知らせたかった。

樹名板づくり

具体的な内容

9月末に支援要請が出て、1月実施に向けて打合せを行った。実施日は“どんど焼き祭”に合わせ、その中のひとつのイベントとして取り組むこととなった。また、ぜひ子供たちと一緒にやろうという提案により、子供主体で樹名板づくりを行うこととなった。子供たちの仕事は、①焼き杉板を磨く、②杉板に樹木名を書く、③樹木に取り付ける、の3つ。

支援の効果

もともと仏向矢シ塚公園愛護会は会長が自治会長ということもあり、たいへんまとまりの良い愛護会である。(自治会のHPもメンバーが作っている)。しかし、大人が主体の組織であり、子供が参加できる企画が無かった。今回、樹名板作成にあたり、子供達が主体となって取り組んだ結果、今後は子供にも焦点をあててイベントを行いたいと考えるようになった。

※当日豚汁が振舞われ、寒い中でたいへん美味しそうでした。

今後の展開

来年度は、①花壇づくり、②堆肥置場づくりを愛護会、自治会、子供たちと一緒に取り組もうと計画している。

当日は雨にもかかわらず野球少年たちを中心に樹名板づくりに取り組んだ。ユニフォームも真っ黒になりながら（本当に真っ黒け）磨く姿に純真さを感じました。



杉板と、焼いた杉板を磨くための藁の束



豚汁が振舞われ、寒い中でたいへん美味しそう！私自身も勧められるまま3杯いただきました。



雨の中のどんど焼き。

どんど焼きでの繭玉づくりは、お母さんと、特に女の子たちが真剣に取り組んでいました。自治会のみなさんも手馴れた様子で作業を進めていました。

宿之入公園愛護会 宿之入公園

(都筑区中川2丁目2、近隣公園、10,000㎡)

新制度支援：樹名板づくり

抱えていた課題

参加者不足、高齢化、利用者のマナー

支援をうけた動機

公園に植えられている樹木の名前を覚えて、子供たちに公園の樹木を大切にしてもらいたい。

子供会に呼びかけることで父兄も参加し愛護会を認識するようになる。

樹名板づくり

具体的な内容

子ども会に呼びかけて、参加者の役割分担も話し合いがなされた。

愛護会のメンバーが樹名板を磨いたり、見本用の樹名を記入したり、事前に準備を行った。

当日用意された樹名板を子供たちがそれぞれ持って樹名を記入し、記念写真を撮った後、支援班の解説を聞きながら順番に取り付けていった。

愛護会のメンバーは子供たちと一緒に回りながら「今日は子供が主役」とサポート役に徹していた。

支援の効果

自分たちで樹名板を取り付けたということで、愛着を感じて、公園の樹木を大切にしていけると思われる。

今後の展開

参加した子供の父兄と愛護会のメンバーの交流が出来、今後の活動への参加が期待できる。

報告者：吉田
報告日：06年3月16日



公園愛護会活動事例集

●発行：横浜市環境創造局環境活動推進部環境活動事業課
〒231-0017 横浜市中区港町1-1
電話 045(671)3950 FAX045(664)4425

●発行日：平成18年5月31日

●イラスト：©nagashima

●編集協力：岡本芳弘 川島建史
各区公園愛護会コーディネータ